

○ 遠別農業高校 学校のいじめ対策の取組評価アンケート結果（R7・生徒）

● 回答者数48（回答率98%）

設問1 生徒と教職員がいじめの定義を確認し、学校が一体となっていじめの認知を確実に行えるよう取り組んでいる。



設問2 日頃から生徒と教職員が相互の信頼関係の構築に努め、定期的なアンケート調査や個人面談を実施し、学校が生徒の悩みや思いを伝えやすい環境を整えている。



設問3 生徒の問題行動や態度の変化について教職員全体が情報共有をし、日常的な見守りと指導助言を行っている。



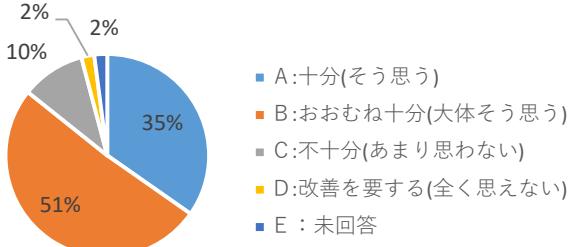
設問4 生徒がいじめの未然防止を意識して高校生活を過ごしていることと、教職員が必要な指導に取り組んでいることがわかる。



設問5 日頃の挨拶や身だしなみ、礼儀等の指導が行われており、生徒にモラルやマナーの定着が図られている。



設問6 生徒が望ましい人間関係の構築を図ることができるようソーシャルスキルトレーニング等を導入している。



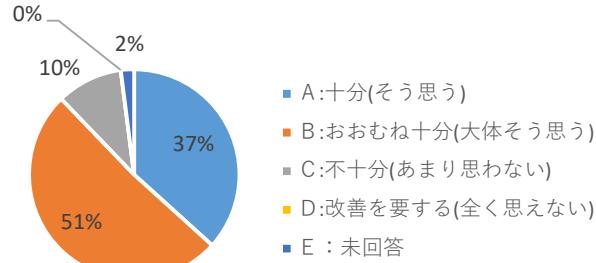
設問7 生徒の人間関係やコミュニケーション能力、学校生活への適応感等を把握する調査とその結果を活用している。



設問8 生徒が主体的に取り組む活動や生徒行事等を通じて、いじめ防止に学校全体で取り組んでいる。



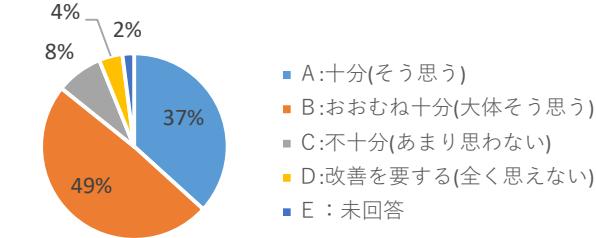
設問9 学校全体で必要な生徒に必要な支援が得られる指導体制が構築されている。



設問11 学校全体が組織的にいじめ防止、いじめ対策に取り組んでいることがわかる。



設問13 いじめの発生状況について学校が、家庭や地域に公表している。



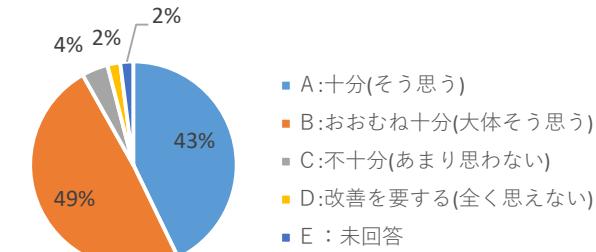
設問15 必要なケースが生じた場合、警察や教育局等の関係機関との連携が図られていることがわかる。



設問10 寮生活において集団生活に必要な指導を隨時行っていることがわかる。



設問12 年度前半で、生徒や保護者の皆さんに対して自校のいじめ防止対策方針等の説明を行い、取組みの理解を促している。



設問14 学校だより等の通信物やいじめ防止基本方針等のホームページ掲載で地域住民や保護者の皆さんが学校のいじめ防止に向けた取組を理解できる活動に取り組んでいる。



※その他、お気づきの点、ご意見等
・記述なし